



「2021年3月期 第2四半期」

決算説明会

2020年11月11日

エレマテック株式会社

東京証券取引所 市場1部 CODE : 2715

URL : <http://www.elematec.com>

IR 問い合わせ先 : 経営企画・人財開発部 E-mail: IR-info@elematec.com TEL: 03-3454-3526

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2020年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

決算報告

2021年3月期 第2四半期連結累計期間

e|em

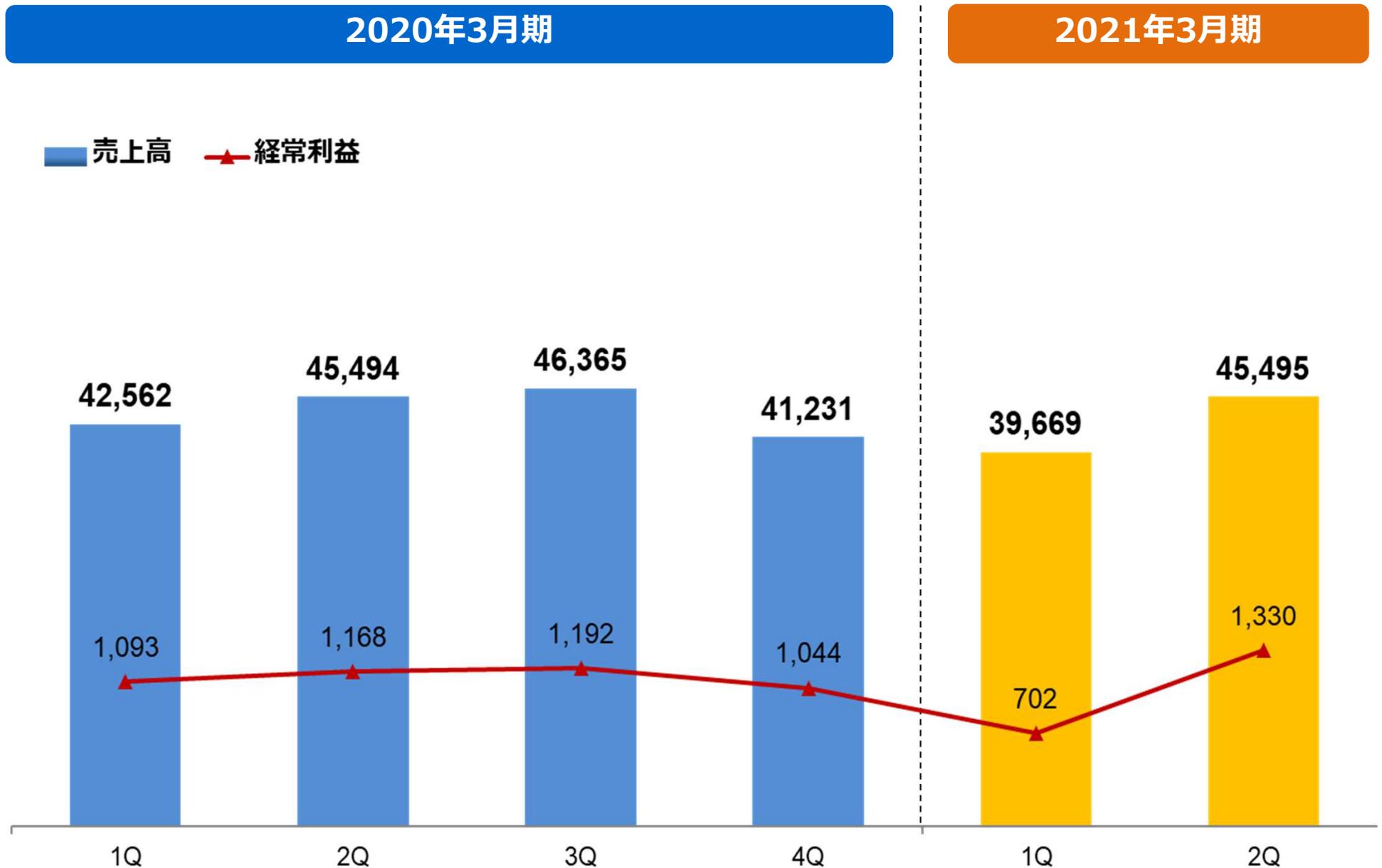
決算ハイライト

- ・安全対策需要の高まりを受け、ドライブレコーダー等の販売は好調に推移
- ・新型コロナウイルス感染症の影響による、自動車市場における生産活動の停滞の影響を受け減収減益

| 単位：百万円 | 20/3期 2Q累計 (USD=108.60円) | 21/3期 2Q累計 (USD=106.93円) | 前期比 | 増減要因 |
|----------|--------------------------------|--------------------------------|--------|---------------------------|
| 売上高 | 88,057 | 85,164 | ▲3.3% | 主に自動車向け関連部材の 販売減少による減収 |
| 売上総利益 | 8,559 | 8,013 | ▲6.4% | 減収に伴う減少 |
| 売上総利益率 | 9.7% | 9.4% | ▲0.3pt | |
| 販売管理費 | 6,232 | 5,861 | ▲6.0% | 旅費交通費等の減少 |
| 営業利益 | 2,326 | 2,152 | ▲7.5% | |
| 経常利益 | 2,262 | 2,033 | ▲10.1% | |
| 当期純利益 | 1,671 | 1,409 | ▲15.7% | |
| EPS | 40.82円 | 34.42円 | — | |
| 1株当たり配当金 | 17円 | 13円 | — | |

四半期別の業績推移

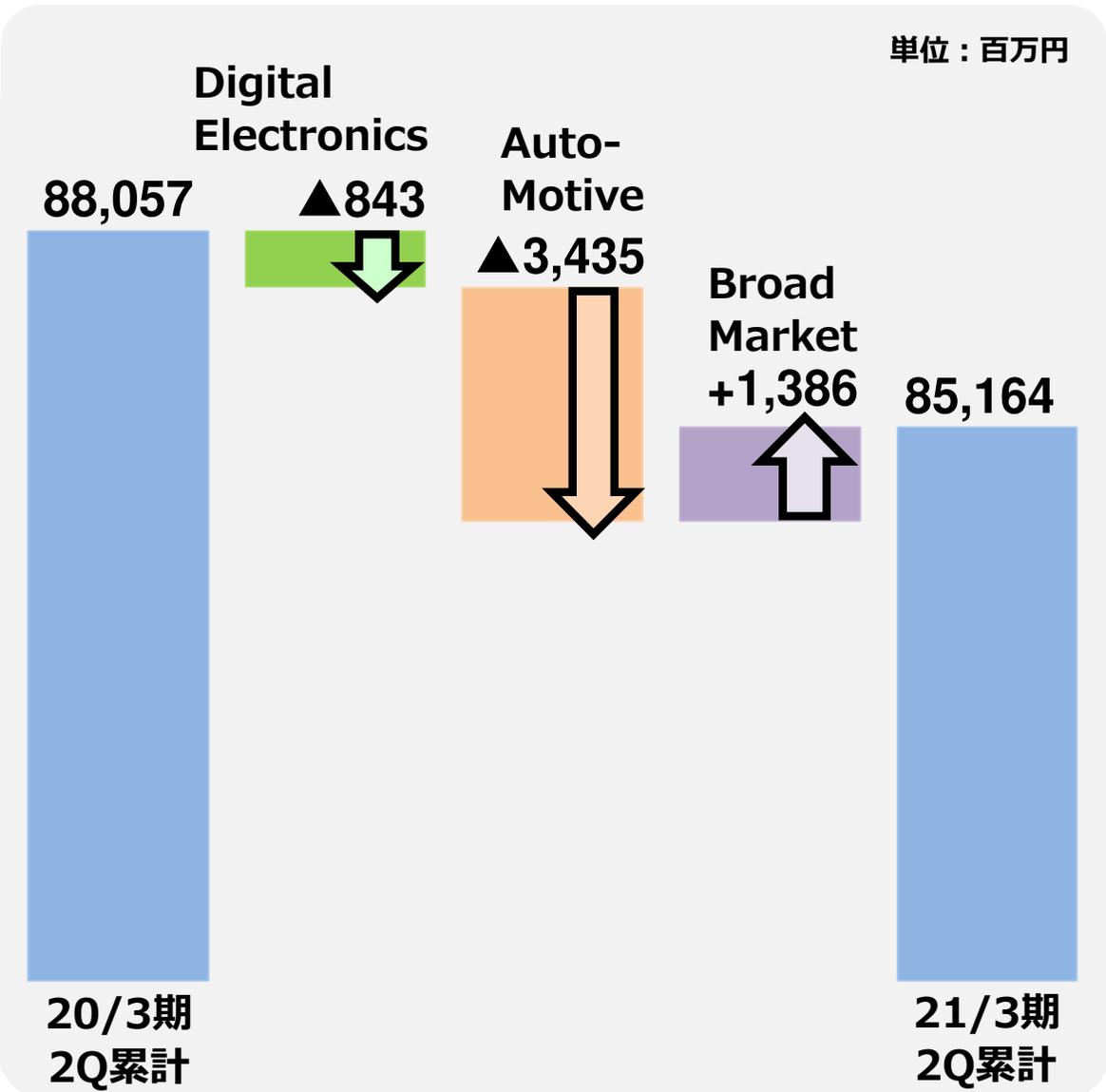
Point 5月を底に6月以降回復傾向となり7月～9月期は前年同期並みに回復



マーケット別売上増減要因

- Point**
- ・ Automotiveは前年同期比▲25.2%
 - ・ Broad Marketはドライブレコーダー等の販売増加により前年同期比+4.1%

前期比 売上高増減内訳



Digital Electronics

【前期比】 ▲843百万円(▲2.1%)
(40,655百万円 ⇒ 39,812百万円)

| | |
|--------------|-----------|
| 黒物家電 | ▲2,833百万円 |
| カメラ・カメラモジュール | ▲984百万円 |
| 電気・電子部品 | +1,761百万円 |
| 液晶、TP、BL | +1,589百万円 |

*TP・BL=タッチパネル・バックライト

Automotive

【前期比】 ▲3,435百万円(▲25.2%)
(13,609百万円 ⇒ 10,174百万円)

Broad Market

【前期比】 +1,386百万円(+4.1%)
(33,792百万円 ⇒ 35,178百万円)

| | |
|-----------|-----------|
| アフターマーケット | +3,309百万円 |
| OA機器 | ▲1,687百万円 |

販売費及び一般管理費の状況

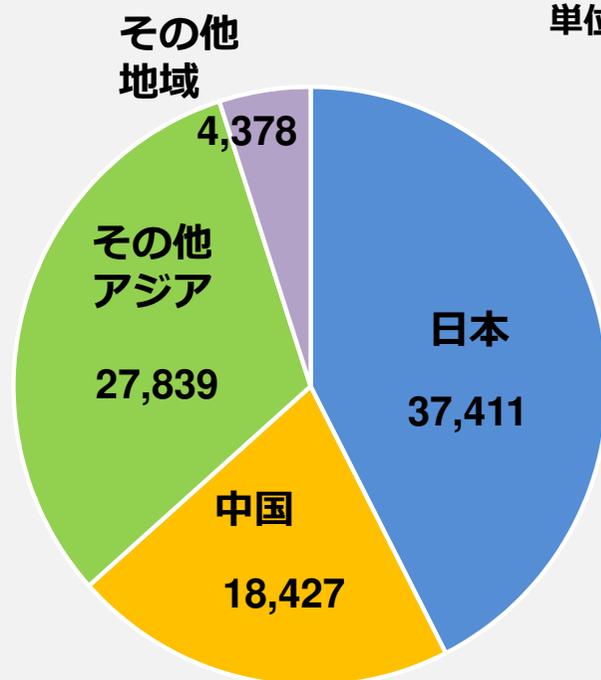
| 単位：百万円 | 20/3期 2Q累計 | 21/3期 2Q累計 | 増減額 | 増減要因 |
|--------|---------------|---------------|------|---------------------------------|
| 人件費 | 3,258 | 3,218 | ▲40 | 法定福利費の減少 (中国での社会保険料減免等) |
| 荷造運賃 | 983 | 1,060 | +76 | 新型コロナウイルス影響 により物流逼迫 →運賃高騰 |
| その他 | 1,990 | 1,582 | ▲407 | 出張自粛による 旅費交通費等の減少 |
| 販売管理費 | 6,232 | 5,861 | ▲371 | 売上高販管費率 7.1% ⇒ 6.9% |

国内・海外売上高

- Point**
- ・日本：ドライブレコーダー等の販売増加
 - ・海外：主にアジア地域で各種関連部材の販売減少 → 海外売上高比率は前年同期比▲4.2%

2020年3月期2Q累計

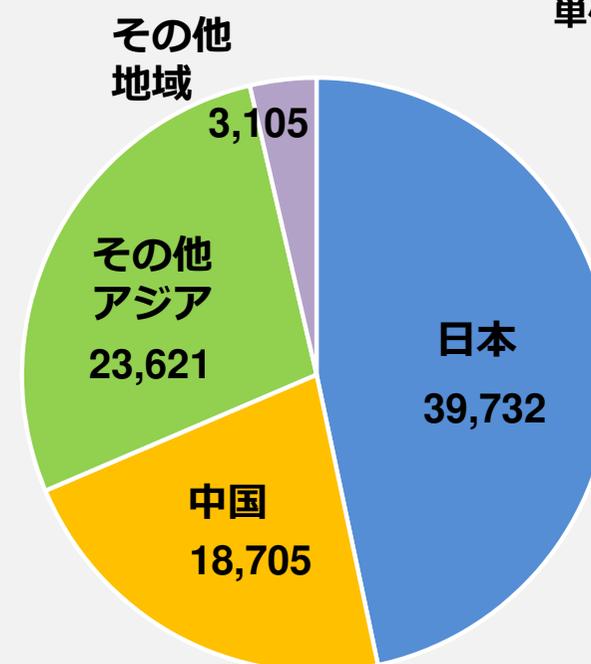
単位：百万円



| 2020/3月期 | 売上構成比 |
|----------|-------|
| 国内 | 42.5% |
| 海外 | 57.5% |
| 中国 | 20.9% |
| その他アジア | 31.6% |
| その他地域 | 5.0% |

2021年3月期2Q累計

単位：百万円



| 2021/3月期 | 売上構成比 |
|----------|-------|
| 国内 | 46.7% |
| 海外 | 53.3% |
| 中国 | 22.0% |
| その他アジア | 27.7% |
| その他地域 | 3.6% |

連結貸借対照表

Point 自己資本比率は、50%超を維持

バランスシート

単位：百万円

総資産 91,781
自己資本比率 55.5%

総資産 93,575
自己資本比率 55.3%

| | |
|----------------|----------------|
| 流動資産 86,276 | 流動負債 39,748 |
| | 固定負債 1,136 |
| | 純資産 50,896 |
| 固定資産 5,504 | |

2020年3月期

| | |
|----------------|----------------|
| 流動資産 87,948 | 流動負債 40,727 |
| | 固定負債 1,140 |
| | 純資産 51,706 |
| 固定資産 5,626 | |

2021年3月期2Q

主な増減要因

流動資産 +1,671

- 現預金 +3,411
- 受取手形・売掛金 ▲1,774
- 棚卸資産 +159

固定資産 +122

- 投資有価証券 +88

負債 +983

- 支払手形・買掛金 +90
- 短期借入金 +842

純資産 +810

- 利益剰余金 +795

連結キャッシュ・フロー計算書

キャッシュフロー

Point 減収による売上債権減少に伴い運転資本改善

| 単位：百万円 | 20/3期 2Q累計 | 21/3期 2Q累計 |
|----------------------|---------------|---------------|
| 営業C/F | ※ 678 | 3,918 |
| 投資C/F | ▲96 | ▲576 |
| 財務C/F | ▲817 | 111 |
| 現金及び現金同等物に 係る換算差額 | ▲658 | ▲41 |
| 現金及び現金同等物の増減 | ▲893 | 3,411 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 24,821 | 26,799 |

主な増減要因

営業CF

- 税金等調整前四半期純利益 +2,033
- 売上債権の減少 +1,716
- 棚卸資産の増加 ▲217
- 仕入債務の増加 +167
- 法人税等の支払額 ▲586

投資CF

- 有形固定資産の取得 ▲518
- 無形固定資産の取得 ▲77

財務CF

- 短期借入金の純増 +851
- 配当金の支払額 ▲613

※19/3期末が銀行休業日であった為、営業C/Fが一時的に減少

通 期 業 績 予 想

2 0 2 1 年 3 月 期

e|em

2021年3月期通期業績予想は、2020年7月29日発表時の内容にて据置

- ◆ 安全対策需要の高まりを受けたドライブレコーダーの需要増加、新型コロナウイルス感染症の影響による巣ごもり需要を受けたゲーム機器関連部材の需要増加が見込まれる
- ◆ 自動車市場は回復傾向が見込まれるものの、上期の需要減少の影響を受け対前期比で減収を見込む

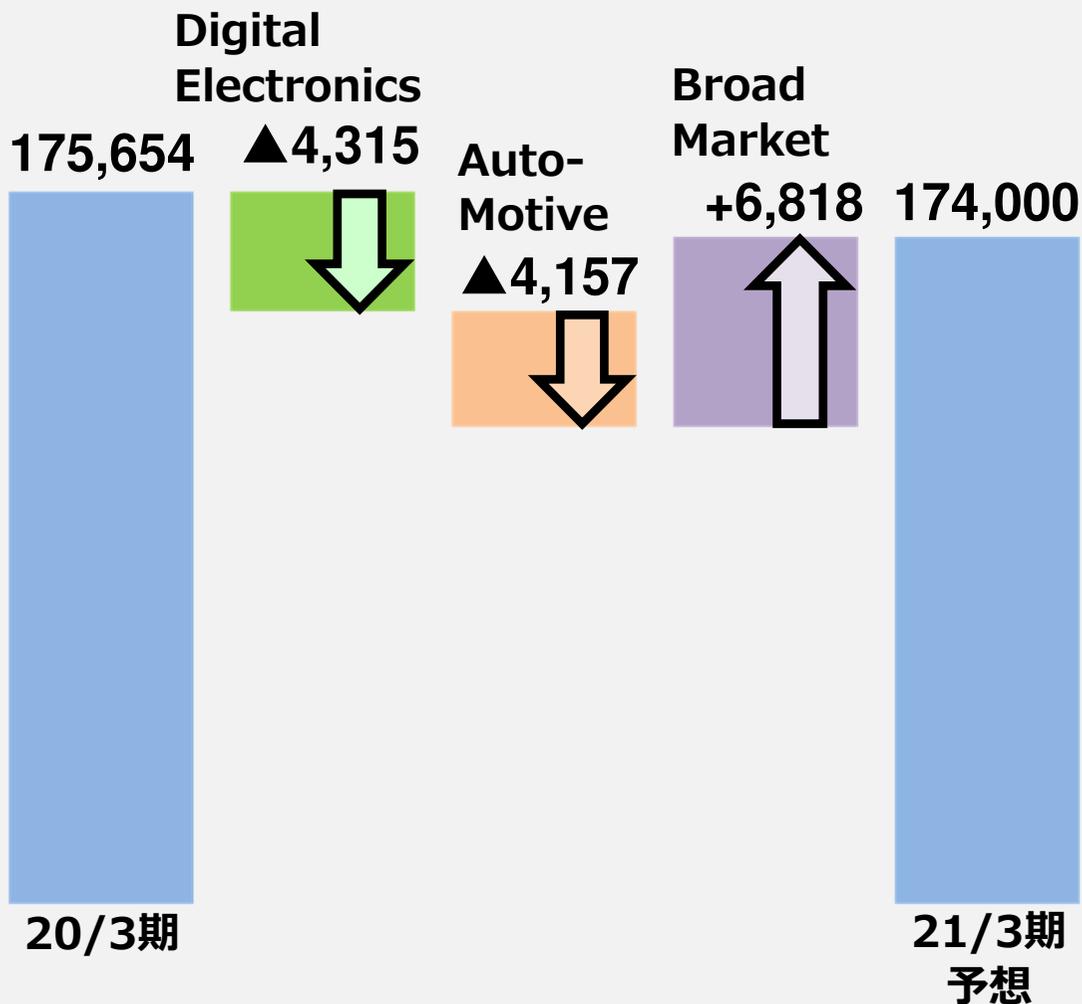
| 単位：百万円 | 20/3期 | 21/3期 予想 | 増減(20/3期vs.21/3期) |
|--------|---------|-------------|-------------------|
| 売上高 | 175,654 | 174,000 | ▲0.9% |
| 営業利益 | 4,765 | 4,400 | ▲7.7% |
| 経常利益 | 4,499 | 4,200 | ▲6.7% |
| 当期純利益 | 3,263 | 2,900 | ▲11.1% |
| EPS | 79.70円 | 70.82円 | — |
| ROE | 6.5% | 5.6% | — |

* 21/3期連結業績予想 前提為替レート USD=105円

- Point**
- ・ Automotiveは下期の需要がやや持ち直し前年同期比▲15.3%の見込み
 - ・ Broad Marketはドライブレコーダー等の販売が大幅に増加し前年同期比+9.9%の見込み

前期比 売上高増減内訳

単位：百万円



Digital Electronics

【前期比】 ▲4,315百万円(▲5.4%)
(79,688百万円 ⇒ 75,372百万円)

| | |
|----------|-----------|
| 液晶・TP・BL | ▲5,353百万円 |
| モバイル端末 | ▲2,043百万円 |
| TOY・ホビー | +3,439百万円 |

* TP・BL=タッチパネル・バックライト

Automotive

【前期比】 ▲4,157百万円(▲15.3%)
(27,187百万円 ⇒ 23,030百万円)

Broad Market

【前期比】 +6,818百万円(+9.9%)
(68,778百万円 ⇒ 75,597百万円)

| | |
|-----------|-----------|
| アフターマーケット | +6,044百万円 |
| モーター | +1,012百万円 |
| OA機器 | ▲2,426百万円 |

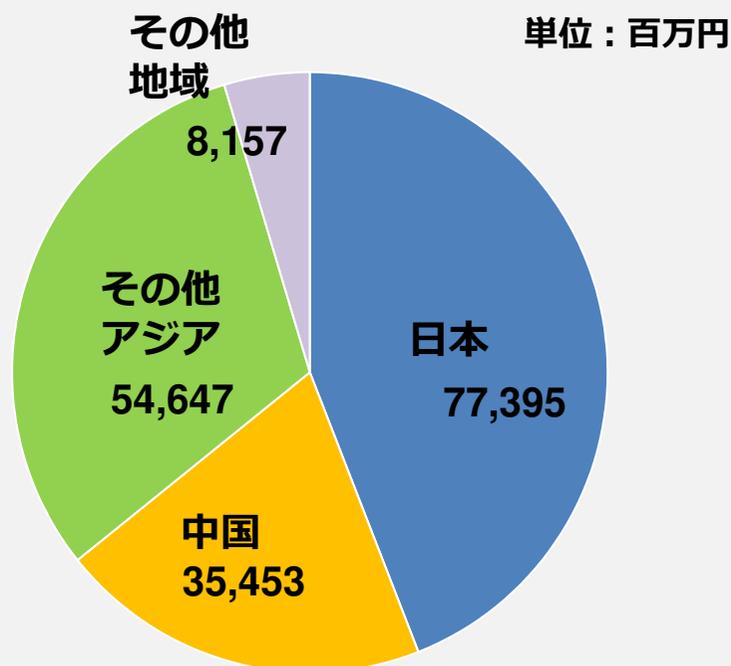
連結業績予想 販売費及び一般管理費の状況

| 単位：百万円 | 20/3期 | 21/3期 予想 | 増減額 | 増減要因 |
|--------------|---------------|---------------|-------------|-------------------------|
| 人件費 | 6,499 | 6,522 | +23 | 企画開発・設計機能の強化を目的とした人材採用増 |
| 荷造運賃 | 1,942 | 2,044 | +102 | 物流逼迫が継続し運賃が高止まり |
| その他 | 3,944 | 3,634 | ▲311 | 旅費交通費等の減少 |
| 販売管理費 | 12,386 | 12,200 | ▲186 | 売上高販管費率 7.1% ⇒ 7.0% |

連結業績予想 国内・海外売上高

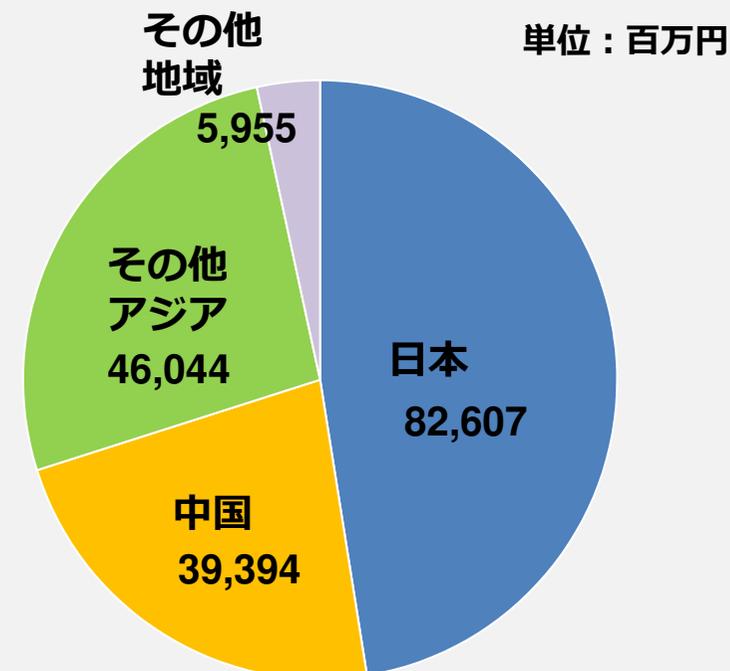
- Point**
- ・日本：ドライブレコーダー等の販売が大幅に増加
 - ・海外：主にアジア地域で各種関連部材の販売減少 → 海外売上高比率は前年同期比▲3.4%

2020年3月期



| 2020/3月期 | 売上構成比 |
|----------|-------|
| 国内 | 44.1% |
| 海外 | 55.9% |
| 中国 | 20.2% |
| その他アジア | 31.1% |
| その他地域 | 4.6% |

2021年3月期

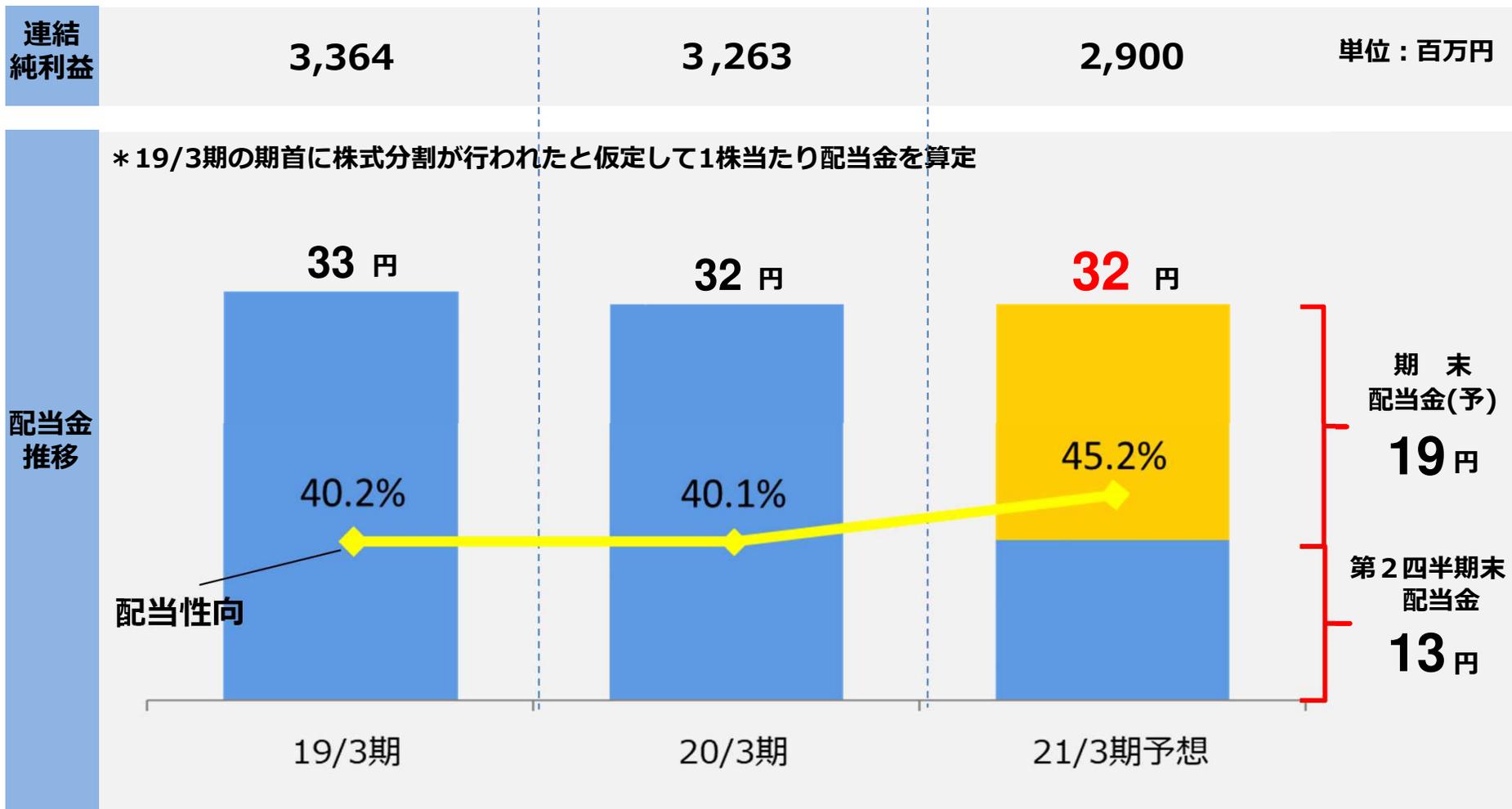


| 2021/3月期 | 売上構成比 |
|----------|-------|
| 国内 | 47.5% |
| 海外 | 52.5% |
| 中国 | 22.6% |
| その他アジア | 26.5% |
| その他地域 | 3.4% |

配当方針及び配当予想

株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題と位置づけ、
 中期的な業績の見通しや投資計画に基づくキャッシュ・フローの状況を勘案し、
 配当性向(連結)40%以上にすることを基本方針とする

1株当たり年間配当金推移※株式分割後(2019年6月1日を効力発生日として株式分割を実施(1株につき2株))



中期経営戦略 (2021年3月期～2023年3月期)

エレマテック **NEXT**

2021年3月期の取り組み

e|em

1 高付加価値型
ビジネスの強化

技術部
環境品質保証部
開発部



商材の拡充

2 国内外
有力顧客の開拓

顧客開発拠点への
出店



専属チーム新設
リソース投入

3 自動車領域の拡大

非日系Tier1の
攻略



豊田通商Gとの
協業

高付加価値型ビジネスの強化

■ 車載ユニット完成品の受注

部材単品の納入ではなく、金型設計サポートから加飾、組立までトータルコーディネート

顧客ニーズ

- ・ 金型設計の専門知識不足
- ・ 工程保証治具設計と作成
- ・ ASSY工程構築
- ・ 塗装歩留向上ロス削減
- ・ 製品外観の向上
- ・ 不具合解析
- ・ 品質資料の作り込み
- ・ 最適なラインタクト
- ・ 塗装工程環境改善

等々

技術部

1. 金型設計・・・構想最適化
2. 成形条件・・・条件最適化
3. 治具設計・・・構想最適化

環境・品質保証部

1. 塗装工程・・・環境・歩留改善
2. 成形工程・・・製品玉成
3. 組立工程・・・タクト見直改善



高付加価値型ビジネスの強化

■ 商材の拡充

市場環境

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により
衛生関連製品への需要急増

PPE(使い捨て个人防护具)製品販売

・ 使い捨てマスク

中国自社工場生産

・ フェイスシールド
・ 眼鏡シールド

抗ウイルス効果のある
銅配合素材製品の販売開始

・ 抗菌マスクケース
・ 抗菌手すりカバー

高付加価値型ビジネスの強化

■ 商材の拡充②

ゲーム機関連商材の拡充

商材

- ・ 放熱用液体金属
- ・ 環境対応型梱包材

ゲーム機本体向けに高性能放熱部材を提供しているほか、世界的に懸念されるプラスチックごみの環境汚染にいち早く着目し、海洋汚染にも対応可能な環境対応型梱包材を提供

新型コロナウイルス影響による巣ごもり需要の増加を受け

今期大幅増収となる見込み

海外有力顧客の開拓

■ 米系及び中国系顧客の開拓

米国

サンノゼに
ショールーム設置

日系商材を中心に
デモの実演まで行い
米系有力顧客へPR

【サンノゼ事務所】



中国

深圳現法へ
開発部員駐在

日系商材のタイムリー
かつ適切な展開を可能にし
中国系有力顧客を攻略

【深圳現法】



伸長する海外有力顧客の開発拠点近くへ拠点を配置

- ・ 人脈の構築及び攻略に向けての課題調査
- ・ 日系商材の適切な展開が現地で可能
- ・ 客先ニーズをタイムリーにキャッチ



実績

新規非日系顧客の口座獲得

⇒横展開及び量産に向け
スペックイン活動継続

国内有力顧客の開拓

■ 専属チームの新設

組織横断型のチーム新設

- ・ 情報、人脈の共有
- ・ 意思決定スピードの向上
- ・ 組織的な対応が可能



開発案件獲得数増加

■ 営業力の向上

リソースの投入

- ・ 顧客キーパーソンへのアプローチ強化
- ・ 顧客ニーズの深掘り



自社工場(メーカー機能)PR
⇒ 試作案件受注

自動車領域の拡大

■ 欧州・中国Tier1の攻略

- ・ **国内実績の横展開** | コックピットモジュール、IRセンサー等
- ・ **有力商材のPR** | 温調カップユニットのデモ実施等

■ EV/HVの強化

- ・ **豊田通商Gとの協業** | 国内自動車メーカー向け電動化チーム組織
 - ・ 情報の共有
 - ・ 新規商売の取り込み

本日は長時間にわたりご静聴戴き、
まことにありがとうございました。

e|ematec

エレマテック株式会社

Elematec Corporation





補足資料

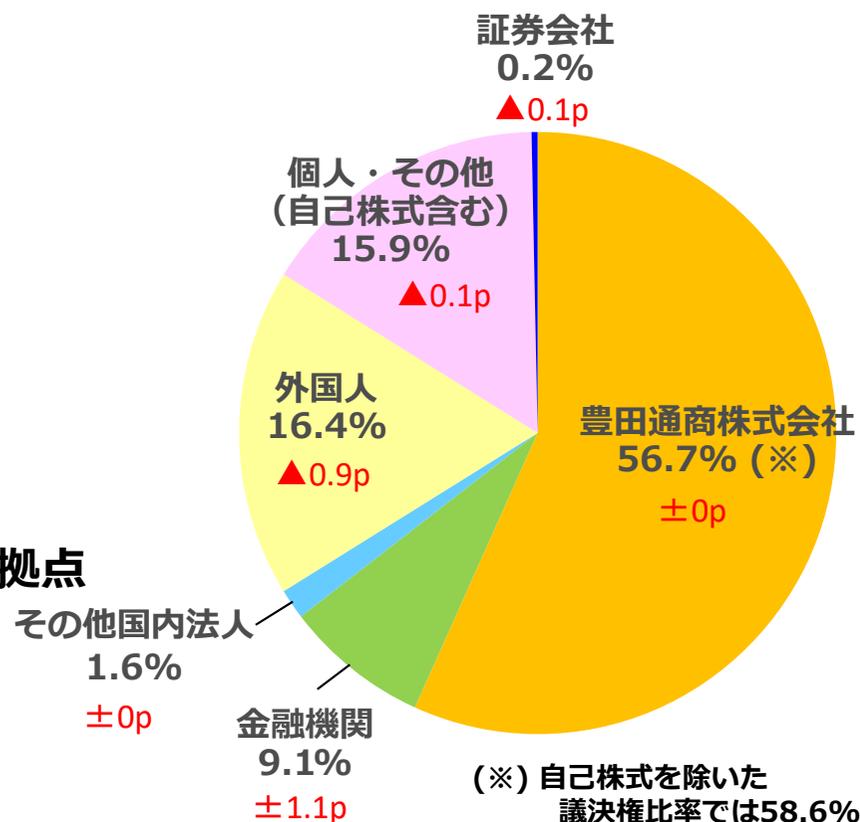
elem

会社概要

※下記の各データは2020年9月30日現在

| | |
|--------|--|
| 商号 | エレマテック株式会社 (英訳名 Elematec Corporation) |
| 設立 | 1947年4月 (創立 1945年11月) |
| 上市場 | 東証1部 2005年3月 (東証2部: 2003年12月、JASDAQ: 2002年6月) |
| 所在地 | 東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館19階 |
| 代表者 | 代表取締役会長 <small>かとう じゅん</small> 加藤 潤 代表取締役社長 <small>よこで あきら</small> 横出 彰 |
| 事業内容 | エレクトロニクス専門商社 |
| 従業員 | 【連結】 1,174名 【単体】 481名 |
| 営業拠点 | 【国内販売拠点22ヶ所】 本社・本店・16支店・4営業所 【海外販売拠点39ヶ所】 中国 17拠点、その他アジア 16拠点 北中米 5拠点、欧州 1拠点 |
| 資本金 | 2,142百万円 |
| 発行済株式数 | 42,304千株 |
| 株主数 | 2,920名 |

所有者分布状況 (2020年9月30日現在)



赤文字は、20/3末比の数字